

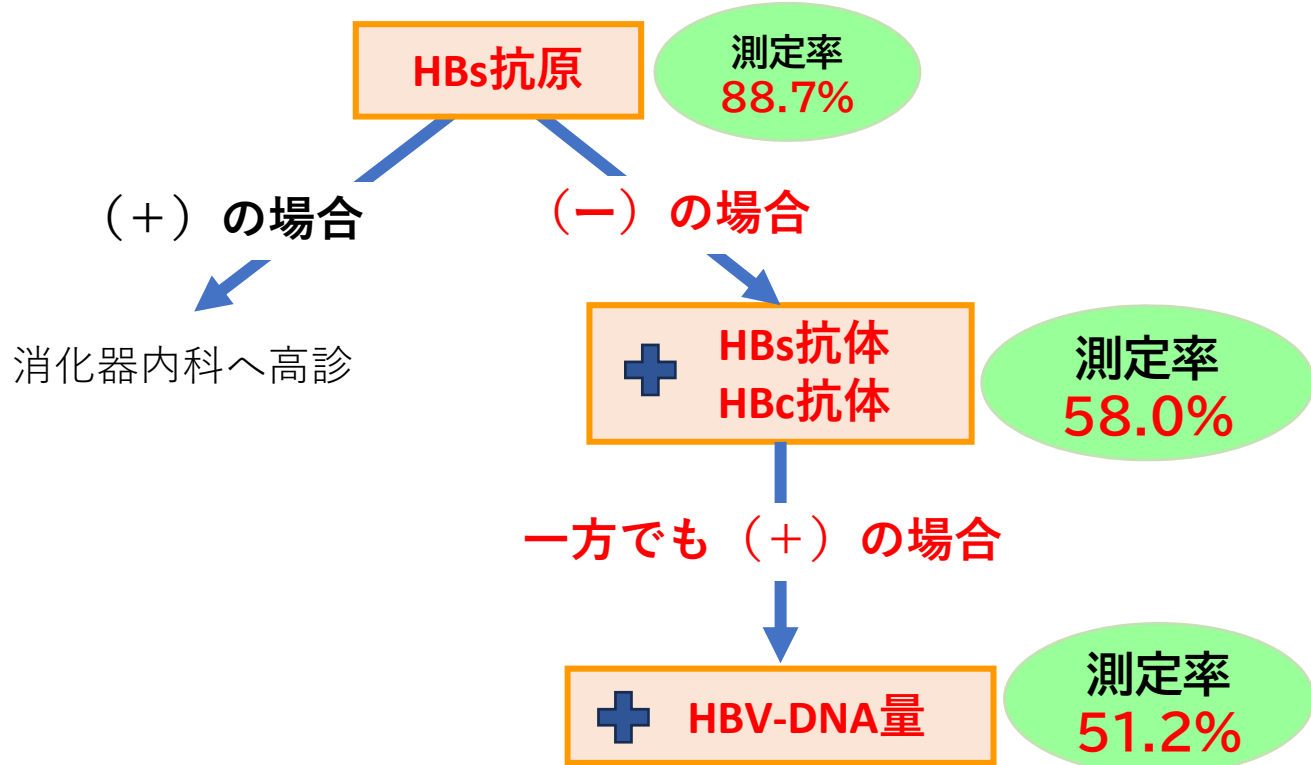


HBV再活性化予防の注意喚起について

2025年5月、他の大学病院において、関節リウマチの治療中に免疫抑制剤等によりB型肝炎ウイルスが再活性化し、肝不全から死亡に至った事例が報告されました。

★免疫抑制・化学療法施行前の全ての症例においてHBs抗原に加えてHBs抗体およびHBc抗体の測定、さらに抗体陽性例ではHBV-DNAをモニタリングする必要があります。

当院で2025年4月に抗リウマチ薬、副腎皮質ホルモン剤、免疫抑制剤を使用した患者(1943件)におけるHBV測定の遵守率



抗リウマチ薬、副腎皮質ホルモン剤、免疫抑制剤使用患者においてモニタリングが十分に実施されていません！！

【免疫抑制療法・化学療法を行う場合の原則】

- ①治療開始前にHBs抗原、HBcおよびHBs抗体の測定を行う
- ②抗体陽性の既感染患者には、1～3ヶ月毎にHBV-DNA測定を行う
- ③抗原陽性、再活性化が疑われる場合には消化器内科へ高診する

ご不明な点があれば肝疾患診療支援センター(7149)までお問合せください